

苫前町地域公共交通活性化協議会

令和6年3月19日設置



概要

苫前町は、北海道留萌管内の中部に位置し、人口2,641人(令和7年5月現在)、総面積454.60km²であり、西部の海岸地帯(海岸17.3km)は平地であり、東部一帯は天塩山地に連なる山岳地帯で、町の総面積の約85%を占める豊かな森林地帯が形成されている。また、海岸地帯では、道内屈指の強風地帯と長い海岸線を活かし、風力発電による「風のまち・苫前」としてまちづくりを進めている。本町の主な交通機関は、バス事業者1社によるバス路線であり、その他の交通手段として、タクシー、スクールバス及び、患者輸送バス、福祉有償運送があり、通院や買い物等の日常生活を支えている。しかしながら、人口減少やコロナ禍後の利用回復の遅れに加え、物価高騰や運転手不足の深刻化等、課題を抱えており、公共交通を支える重要財源「国鉄羽幌線代替輸送確保基金」も令和9年度に枯渇見込みであることから、これらの背景を踏まえ、持続可能な公共交通ネットワークを一体的に形成する指針となる「苫前町地域公共交通計画」を策定する。

○地域公共交通の現況

- ・バス(1社) (高速バス(特急はぼろ号、特急あさひかわ号)、地域間幹線系統路線(幌延留萌線)、広域生活交通路線(羽幌留萌線)、市町村単独補助路線(初山別留萌線、上平古丹別線))
- ・タクシー(1社) ・スクールバス(6路線) ・福祉有償運送(1団体)
- ・無料送迎交通(僻地患者輸送バス3路線、とままえ温泉ふわっと送迎バス)

○地域公共交通の課題

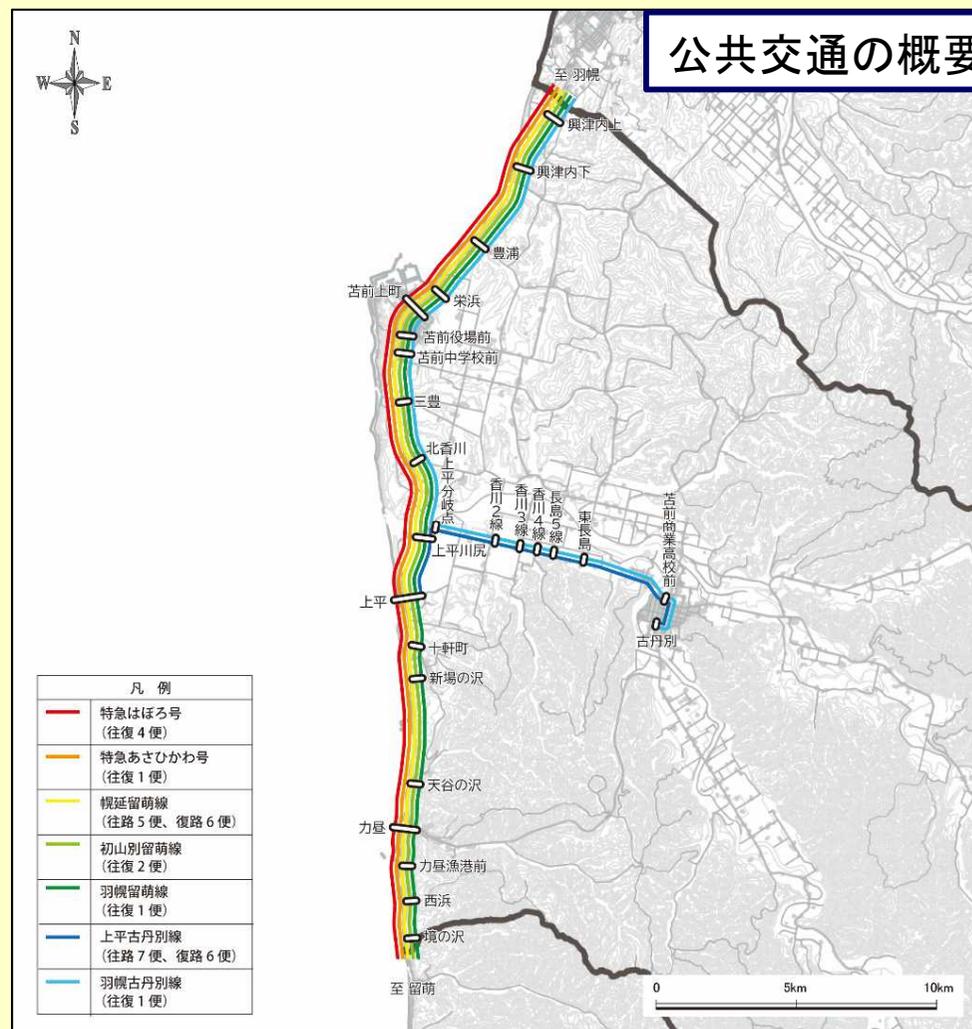
- ・地域公共交通の利便性の向上
- ・より多くの町民が利用できる交通手段の検討
- ・苫前町の地域条件に有効な新たな交通手段の検討

○調査の主な内容

- ・地域公共交通の現況調査(既往資料より、町の概要及び町内公共交通(路線バス、無料送迎交通等)の現況把握)
- ・地域公共交通実態調査(住民アンケートの実施、集計、分析)

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 5月 第1回協議会(書面)
予算承認、委員変更、関係規定変更報告
- 8月 第2回協議会(対面及びオンライン)
計画策定支援業務の委託契約締結(報告)、スケジュール確認
- 11月 第3回協議会(対面及びオンライン)
各種調査結果(報告)、計画原案(課題整理まで)の検討



苫前町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

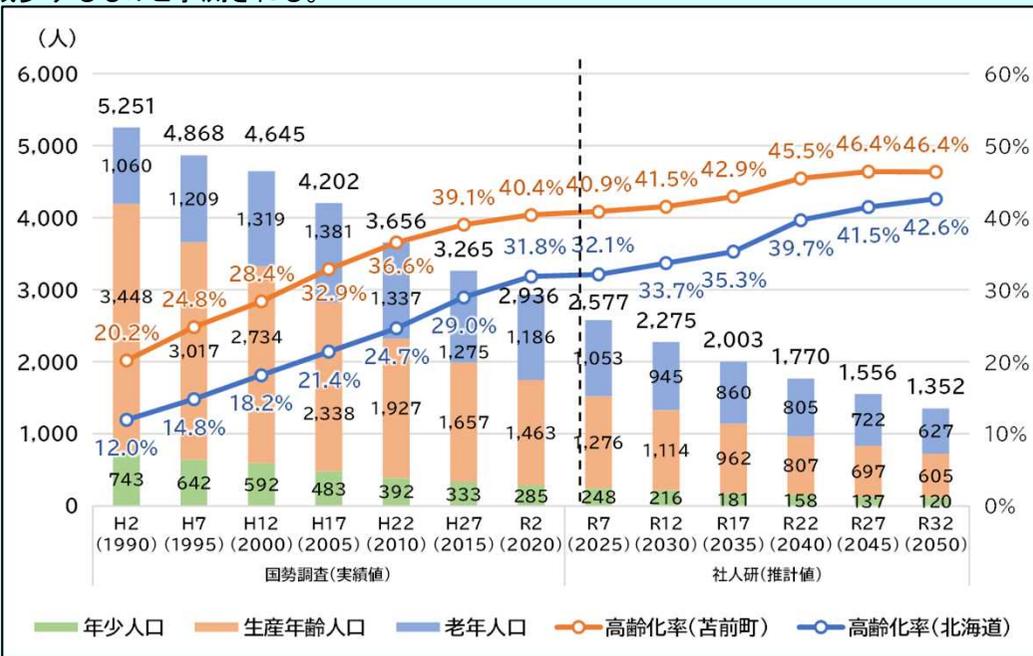
●事業の結果概要

【地域内の公共交通に関する現況調査】

(1)人口の推移・推計

人口は年々減少しており、人口減少傾向は今後も続くものと予測される。

また、高齢化率が北海道平均を上回るなど、高齢化が進んでいるものの、高齢者人口は減少するものと予測される。

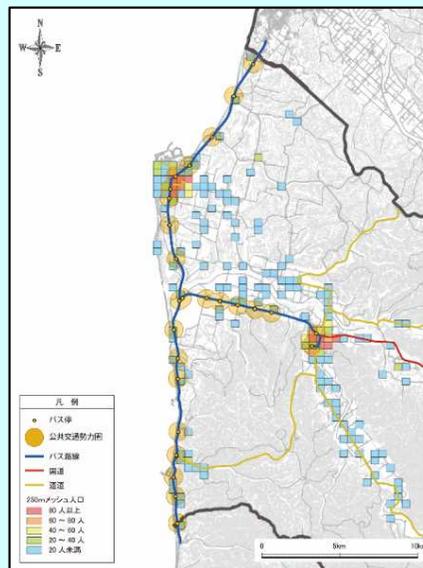


・人口の推移・推計

(2)町の公共交通網

全人口に対する公共交通勢力圏（バス停から半径300m圏内、鉄道駅から半径800m圏内）人口比率（カバー率）は、人口類似都市の平均値よりも23.3ポイント下回る48.6%となっている。

市街地以外の居住地からは最寄りのバス停が遠く、広いエリアで公共交通空白地域となっている。



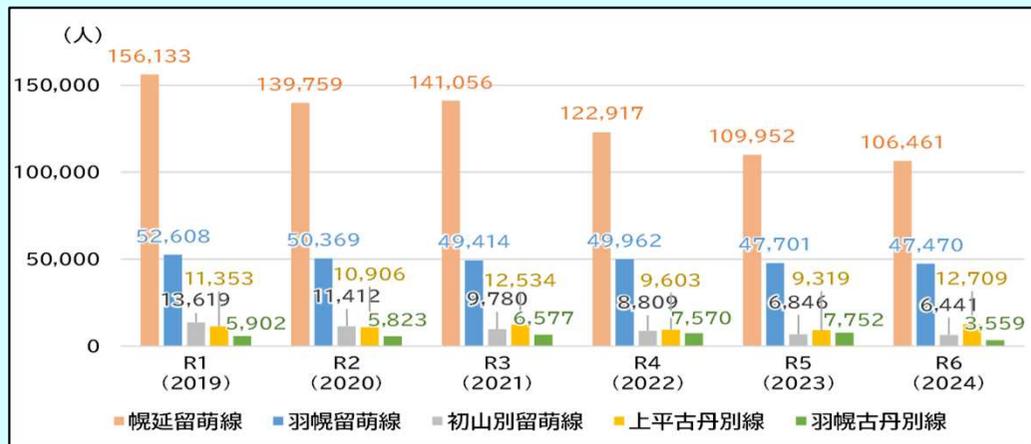
・苫前町公共交通勢力圏（全町域）

町村名	国勢調査人口	勢力圏内人口	カバー率
鹿部町	3,760人 (R2)	3,147人	83.7%
乙部町	3,403人 (H27)	2,791人	82.0%
小平町	2,994人 (R2)	2,410人	80.5%
壮瞥町	2,743人 (R2)	2,016人	73.5%
月形町	3,691人 (R2)	2,309人	62.8%
更別村	3,185人 (H27)	1,931人	61.2%
妹背牛町	2,693人 (R2)	1,639人	60.9%
遠別町	2,310人 (R2)	1,579人	68.4%
苫前町	2,934人 (R2)	1,427人	48.6%
平均値	3,097人	2,228人	71.9%
島牧村(参考)	1,499人 (H27)	1,003人	66.9%

・人口類似都市の公共交通勢力圏人口

(3)公共交通の運行状況

路線バスのうち、幌延留萌線、羽幌留萌線、初山別留萌線については、いずれも令和元年より利用者が減少傾向にあり、上平古丹別線のみ、令和5年度に廃止した羽幌古丹別線等の影響により、令和6年度は、前年度より利用者数が増加している。

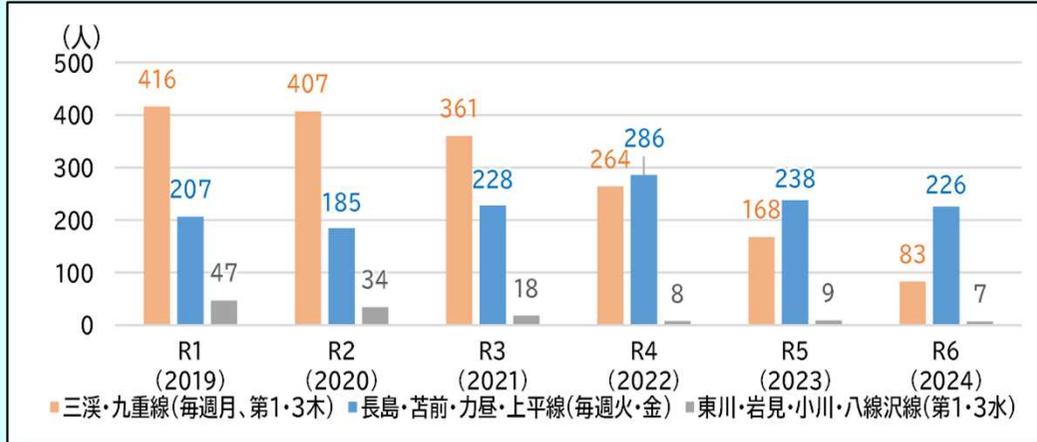


・路線バス輸送人数の推移

苫前町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

そのほか、町内では僻地患者輸送バスが3路線運行しているが、いずれも利用者数が減少している。



・僻地患者輸送バス利用者数の推移

【地域公共交通実態調査】

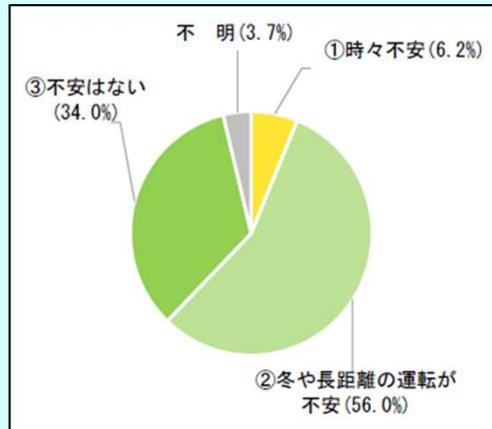
(1) 調査の方法

町民を対象としたアンケート調査を実施し、1,252世帯に送付し、197世帯(回答率:15.7%)の回答があった。

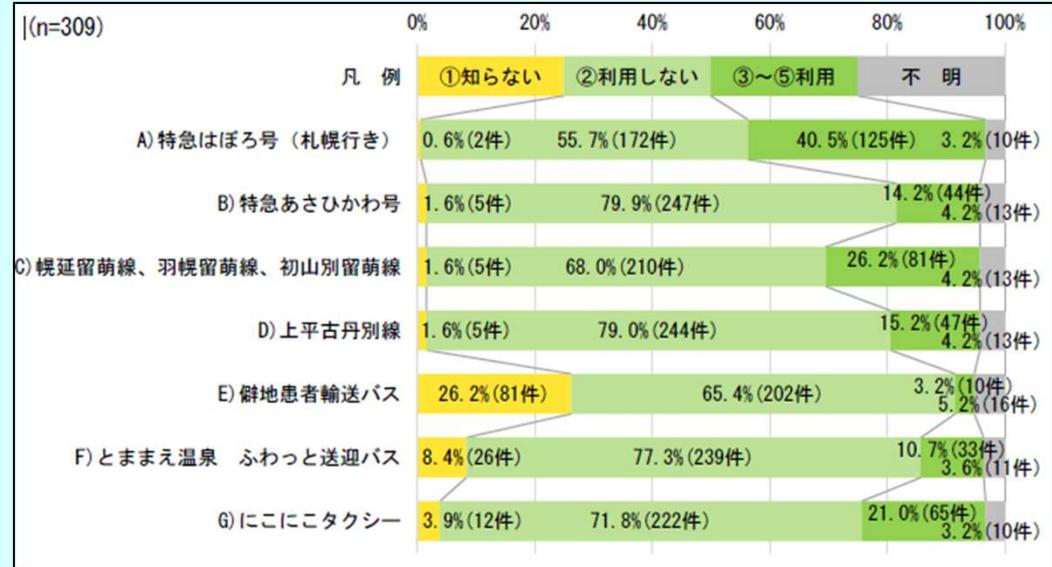
(2) 調査結果

公共交通の利用者は多いとは言えないものの、冬期間や長距離運転など、運転に何かしらの不安を抱えている住民が多いことが明らかになった。

また、上平古丹別線と特急はぼろ号等への円滑な乗り継ぎや、交通量の多い「苫前地区」と「古丹別地区」を直接結ぶ公共交通の運行について多数意見があった。



・アンケート結果抜粋(運転時の不安)



・アンケート結果抜粋(公共交通等の利用状況等について)

	①豊浦・昭和・豊浦・栄浜	②港・三豊	③苫前・旭	④長島・香川	⑤上平	⑥東川・岩見・小川・岩見	⑦古丹別	⑧力屋	⑨九重・三溪	町内小計	⑩留萌市	⑪羽幌町	⑫小平町	⑬初山別村	⑭遠別町	⑮天塩町	⑯増毛町	⑰旭川市	⑱稚内市	⑳札幌市	その他	町外小計	発生量	発生集中量
①豊浦・昭和・豊浦・栄浜	0	0	7	1	0	0	0	0	8	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	27	
②港・三豊	0	2	8	0	0	0	3	0	13	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	15	28	61
③苫前・旭	3	8	272	16	8	8	101	3	2	421	19	98	15	0	0	0	10	5	7	1	155	576	1,170	
④長島・香川	1	0	12	65	0	0	9	0	87	4	9	0	0	0	0	0	3	0	2	0	18	105	236	
⑤上平	0	0	8	0	0	0	7	0	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	17	45
⑥東川・岩見・小川・岩見	0	0	10	0	0	30	41	0	12	93	2	22	1	5	0	0	0	1	0	0	31	124	241	
⑦古丹別	4	7	78	17	16	38	214	3	31	408	34	54	0	0	0	1	1	6	0	5	106	514	1,045	
⑧力屋	0	0	4	0	0	0	2	19	0	25	1	3	4	0	0	0	0	2	0	0	2	12	37	75
⑨九重・三溪	0	0	2	0	0	12	27	0	41	20	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0	26	67	125	
町内小計	8	17	401	99	24	88	404	25	45	1,111	88	196	20	5	0	1	1	23	5	17	11	367	1,478	
⑩留萌市	0	4	9	1	0	1	23	1	5	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	132	
⑪羽幌町	9	10	130	20	4	21	65	3	2	264	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	264	460	
⑫小平町	0	0	15	0	0	1	2	4	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	42	
⑬初山別村	0	0	0	1	0	5	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	11	
⑭遠別町	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	
⑮天塩町	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
⑯増毛町	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	
⑰旭川市	0	0	11	2	0	0	6	2	4	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	48	
⑱稚内市	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10	
⑳札幌市	0	0	13	3	0	1	23	0	2	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	59	
その他	0	2	10	0	0	0	5	3	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	31	
町外小計	9	16	193	32	4	29	127	13	13	436	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	436	803	
発生量	17	33	594	131	28	117	531	38	58	1,547	88	196	20	5	0	1	1	23	5	17	11	367	1,881	

・地域間の移動状況(全交通手段)

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

【計画素案について】

現在、実施した各種調査結果から、下記のとおり既存の公共交通等の課題や新たな公共交通運行の必要性など、持続可能な地域公共交通体系を構築するための課題整理を実施しており、今後はそれを踏まえ、持続可能な地域公共交通の実現に向けた基本方針、目標を設定するとともに、その達成手段となる事業内容を設定し、2月を目処に協議会にて協議を行う。

○課題等

・地域公共交通の利便性の向上

人口減少や人件費の高騰などによる交通事業者の経営環境の悪化が予想される中で、高齢化率の上昇等によって公共交通を必要とする人口割合が増加するため、多くの住民が利用できるよう、公共交通の利便性の向上が必要となっている。

・より多くの町民が利用できる交通手段の検討

本町では、公共交通勢力圏人口が、人口類似都市の平均を大きく下回るなど、交通空白地が多く存在しており、既存の僻地患者輸送バスやスクールバス等の公共交通や無料送迎交通を改善・見直しすることにより、公共交通勢力圏人口を拡大して町民が利用できる交通手段の検討が必要となっている。

・苫前町の地理的条件に有効な新たな交通手段の検討

住民アンケートにて、多数意見のあった公共・公益施設が集中する「苫前・旭」及び「古丹別」を直接結ぶ交通手段や、「上平古丹別線」と「特急はぼろ号」を円滑に乗り継ぐことができるような交通手段など、町内及び町外交通の確保、自宅や主要な施設と直接アクセスするような交通手段を組み込んだ交通体系の構築等により、苫前町の地理的条件に有効な新たな交通手段の検討が必要となっている。

苫前町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

【予定スケジュール】

- ・2月 法定協議会(計画素案協議)
- ・3月 パブリックコメント
- ・4月 法定協議会(計画策定協議)

●事業実施の適切性

- ・計画通り事業は実施されており、完了時には所定の成果が得られる見通し。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり実施されている。
- ・交通カバー率等のデータ活用や地域間の移動状況調査等、調査結果をまとめることは大変だと思うが、今後も引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただくとともに、調査から得られた課題等を反映した地域公共交通計画をぜひ策定いただきたい。
- ・今後、地域公共交通計画策定後についても、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についてさらに検証していくことをご検討いただきたい。